

立入防止柵取替工の作業手順

制定・改定日 2023.4.5

項 目	内 容	留 意 事 項
準備工	<ul style="list-style-type: none"> 作業内容の確認 作業人員の確認 保護具の点検 使用資機材及び工具取扱確認 	<ul style="list-style-type: none"> 指示書内容の確認 安全打合せ書・チェックシートの確認 取扱説明書の活用
既設立入防止柵撤去	<ul style="list-style-type: none"> 現場KYの実施 レスブロソーにて既設支柱根元及び胴縁を切断 (火花が出ずらい工具に変更) *発生材はメンテ職員に確認後、仮置き場へ運搬 	<ul style="list-style-type: none"> 適切な保護具の着用 *保護メガネ、防塵マスク、耐切創用手袋、防護服 レスブロソーを使用する場合は防護服の着用を徹底する。 切断作業時、火災防止に努める。(消火器とバケツの設置)
支柱建込み	<ul style="list-style-type: none"> 擁壁部へのコア抜き後、支柱を建て込みモルタルにて固定 	<ul style="list-style-type: none"> 支柱の垂直立て込み確認。
胴縁取付	<ul style="list-style-type: none"> 支柱の固定確認後、胴縁を水平に設置する。 	<ul style="list-style-type: none"> 胴縁を切断する場合は、高速切断機を使用を標準とする。 やむを得ずレスブロソーを使用する場合は耐切創手袋等の適切な保護具を着用する。 切断作業時、火災防止に努める。(消火器とバケツの設置)
金網取付	<ul style="list-style-type: none"> 金網を胴縁に取り付ける。 専用Uボルトとナットで支柱に取り付けた後、上下金網の連結を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 金網取付が終了しない区間は、仮設物にて、立入防止対策を講じる。
後片付け	<ul style="list-style-type: none"> 使用した資機材を片付け清掃を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 使用した道具等は、現場に置き忘れが無いように確認する。

業編成(標準)			機材		資材		安全器具・保護具	
作業責任者	1	名	トラック(2t)	発電機	支柱		ヘルメット	消火器
現場監視員	1	名	クレーン付きトラック(2t積2.9t吊)	インパクトドライバ	鋼管基礎		反射(自発光)チョッキ	
作業員	4	名	クレーン付きトラック(4t積2.9t吊)	レスブロソー	胴縁		警笛	
			ダンプトラック(2t)	電工ドラム	取付金具		保護メガネ	
			コンプレッサー				防塵マスク	
			ブレーカー				耐切創用手袋	

※現場で作業手順を変更する場合は作業を中止し、作業責任者からメンテ名古屋担当者に報告・相談する。

■注意事項(共通の指導事項)

- 1.機械作業は、有資格者が操作を行う。
- 2.吊り荷の下へは絶対に入らない。
- 3.作業機械の旋回範囲を確認し、立ち入らない。見張り員の設置と合図。
- 4.側道作業は、一般車両の通行に配慮する。場合によっては、道路使用許可を得る。
- 5.適切な材料管理に努める。(シート掛け、囲い、表示)
- 6.手持ち式振動工具については取扱を十分理解し、使用する。

7.一人作業の禁止